

嵐山地区における『可動式止水壁』の整備状況の報告を行います ～ 3/14 桂川嵐山地区河川整備検討委員会(第10回)を開催 ～

桂川嵐山地区については、「史跡・名勝」としての嵐山地区の景観や利用に配慮した河川整備を進めています。

第10回委員会では、前回委員会以降、地元等の意見を聞きながら工事を進めてきた渡月橋上流左岸の可動式止水壁の設置及び実動状況、意匠工事の進捗について、確認いただく予定です。

- 日 時： 令和4年3月14日(月)15:00～17:00
- 場 所： らんざん 2階 桂川（現地での施工状況確認も実施）
- 取 材： 報道関係者の取材は可能です。
ただし、撮影は頭撮りのみとさせていただきます。
当日、会場において受付を行います。
- その他： 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催いたします。
 - ・発熱、咳などの症状のある方は、参加自粛に御協力ください。
 - ・来場の際には、マスクの着用をお願いします。
 - ・手指消毒剤を設置しますので、手指の消毒、検温に御協力をお願いします。
 - ・参加者は、咳エチケット、手洗い、相互接触(握手等)の回避等に心がけてください。

<取扱い> _____

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

事業対策官 やま たかし
矢間 孝司

調査課長 たなか ゆうた
田中 優太

電話番号 (072)843-2861(代表)

嵐山地区における『可動式止水壁』の整備状況の報告を行います

～ 3/14 桂川嵐山地区河川整備検討委員会(第10回)を開催 ～

桂川嵐山地区は、渡月橋や世界文化遺産の天龍寺をはじめとした歴史的文化財が点在し、国内有数の観光地であるものの、上下流に比べて川幅が狭い等の治水上の課題があり、平成25年の台風18号においては川から水が溢れて大きな浸水被害が発生しました。

これまで、本委員会では、「史跡・名勝」としての嵐山地区の景観や利用に配慮した河川整備の検討を行い、その審議結果を踏まえ当面の治水対策として「可動式止水壁による左岸溢水対策」「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」の3つの対策を進めているところです。

また、前回委員会(令和元年11月15日)では、渡月橋上流左岸の溢水対策(可動式止水壁)の構造・意匠等について確認いただき、引き続き、地元の意見を聴きながら工事をすすめるよう助言があったところです。

今回は、前回委員会以降、地元等の意見を聴きながら工事を進めてきた可動式止水壁の設置及び実動状況、意匠工事の進捗について、確認いただく予定です。



可動式止水壁の実動状況

1. 開催日時等

日時:令和4年3月14日(月)15:00～17:00

場所:らんざん 2階 桂川(現地での施工状況確認も実施)

※会場の駐車場は数に限りがありますので、公共交通機関若しくは周辺のコインパーキングを御利用ください。



2. 委員名簿

別紙のとおり

3. 主な議事内容(予定)

可動式止水壁の実動及び意匠工事について

4. 一般傍聴について

当日会場にて受付を行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者席は別室となり、モニターでの視聴となります。

席には限りがあるため、傍聴受付は先着順とさせていただきます。

5. 取材等

報道関係者の取材は可能です。

ただし、撮影は頭撮りのみとさせていただきます。

「別紙」

(五十音順)

氏名 (敬省略)	所属等
学識経験者及び有識者	
小川湫生	天龍寺宗務総長
川崎雅史	京都大学大学院工学研究科教授
金田章裕	京都大学名誉教授
坂上英彦	嵯峨美術大学名誉教授
立川康人	京都大学大学院工学研究科教授
深町加津枝	京都大学大学院地球環境学堂准教授
道奥康治	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授
行政	
波多野真樹	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所長
濱田禎	京都府建設交通部長
野口礼子	京都府商工労働観光部観光政策監
谷口一朗	京都市建設局長
土橋聡憲	京都市観光政策監